

東葛が東葛らしくあるために



↑文化祭 I 部発表 リベラルアーツ講座「模擬裁判」

『自由研究』と『医歯薬研究』 『リベラルアーツ講座』

【自由研究・医歯薬研究】

自由研究・医歯薬研究（医歯薬コース）では、全ての生徒が自主的なテーマ設定のもとに1年間の研究と実践を行い、研究論文として集約しています。この研究は昭和45年に、生徒の求めによって開始されたもので、自学自習の根幹とも言えます。

【リベラルアーツ講座】

学力・人間力・教養の涵養！

リベラルアーツ講座は、一般教養講座と医歯薬講座（医歯薬コース）とに分類されます。グローバル社会に対応できる幅広い教養を身につけることを目指し、本校教員はもとより、お招きした大学の先生や各分野の専門家を講師として、年間30講座以上の広範囲なジャンルを開講しています。講座への参加は自由選択で、保護者が講師であったり受講者であったりする講座も存在します。



東葛が東葛らしくあるために！

【取組の目指すところ】

自ら課題を見出すとともに、自由研究やリベラルアーツ講座、そして平素の授業をとおして、

- ①主体的に課題と向き合う力を養います。
- ②手に入れた情報を的確に整理・分析し、それらを総合することで自らの知識と技能を高めます。
- ③学びの中で思考し、判断し、表現する習慣を身につけます。

国際医療福祉大学との連携！！

←文化祭 I 部発表 自由研究



↑医療体験（左から、呼吸状態確認・内視鏡実習・縫合実習）

【医歯薬講座（医歯薬コース）】

本県の医師不足の実態を踏まえ、将来の地域医療を担う人材育成を図るため、平成26年度に医歯薬コースが開設されました。

『学びに向かう力と人間性』『知識と技能』『思考力・判断力・表現力』の涵養はもとより、『自らを積極的に生かし役立てていこうとする態度や能力』を育成する、東葛飾高校の一つのシンボルと言えます。「東葛が東葛らしくあるために」。世界中、所狭しと活躍しているOB・OGをはじめ、地域関係諸機関や専門家の皆様、あるいは保護者の皆様の力を借りて、私たちは学びの道を切り拓いています。

柏市医師会のバックアップ



千葉県立東葛飾高等学校

令和元年度魅力ある学校づくり大賞 応募概要（千葉県立東葛飾高等学校）

1 目的

「東葛が東葛らしくある」ことの具現化のために、自ら課題を見出すとともに、学びをとおして主体的にこれと向き合う力を養う。集めた情報を的確に整理・分析し、これらを総合することで自らの知識と技能を高めてゆく。学びの中で思考し、判断し、表現する。こうした過程から、主体的な学習者としての素地を涵養し、生涯に亘って自らを支える「幅広い教養」を追究する姿勢を身に付けさせる。

「自由研究」「医歯薬研究（医歯薬コース）」では、全生徒が自主的なテーマ設定の下に1年間の研究と実践を行い、研究論文として集約する。追究すべき興味と関心に適う能動的な学習を求めた生徒の要望を基に、1970年に始められたもので、40年以上の歴史に培われている。

「リベラルアーツ講座」は一般教養講座と医歯薬講座とに分類される。グローバル社会への対応を目指し、専門的な講師を招聘した年間30講座以上の広範囲なジャンルに、自由に応募して受講する。

2 成果

新学習指導要領が目指す「資質・能力の三つの柱（学びに向かう力と人間性・知識及び技能・思考力、判断力、表現力）」の涵養はもとより、「自らを積極的に役立て生かしていこうとする態度や能力（千葉県の教育の振興に関する大綱）」の育成に資する成果が、強く認められる。

自由研究の研究者（生徒）にとっては、自らの興味と関心に基づいた課題を1年（3年）間かけて探究できるという醍醐味がある。大学進学以後も同一テーマを発展的に研究し、職業として、またライフワークとして継続した人物もいる。リベラルアーツ講座においても、学問の志向性を満たすとともに、より深い探究へと導く成果がある。

3 準備段階及び実施段階の工夫

自由研究は総合的な探究の時間として授業時間内に組み込むことで、全員参加の形態及び学習時間の確保を保証している。また、各ジャンル別展開へ教員を配置し、アドバイスや発表会を設定することなどの工夫によって、生徒のレポートや研究の質の向上が支えられている。

リベラルアーツ講座は広く社会で活躍しているOB・OGを含め、専門性の高い講師を探すばかりでなく、教員がコーディネーターを務めたり、講座によっては教員自身が講師を務めることから、深く学ぶことによって自らの資質・能力を高めている。

教員にとって専門外の内容もままあるが、より専門性の高い教員との媒介を務めることや、担当する生徒と面談をとおして研究の方向性を共有したり、共に試行錯誤することによっても研究推進を支えている。

4 広報活動とその成果

学校ホームページにおいて紹介するとともに、学校内外で行われる各種の説明会等で説明と広報を行っている。本校を志望する中学生等の志願動機に、少なからず好影響を及ぼしている。

優れた研究については、「東葛祭（文化祭）I部」において発表の機会を提供し、広く来校者の見聞に触れさせている。本校の柱である「学力」「教養」「人間力」の表出の場として、成果をあげている。

医歯薬研究に関しては「医歯薬研究発表大会」を実施し、連携大学等からの講評及び指導助言を受ける機会を得ている。発表者である生徒自身の意識の高場にもつながっている。

5 取組への反響

自由研究においては、中高一貫教育重点校の強みを生かし、中学時代から研究テーマを連続している生徒もおり、地元行政と連携した「地域おこし」の活動に発展している研究事例もある。また、県内唯一の医歯薬コースと連動した「医歯薬研究」においては、国際医療福祉大学との高大連携や柏市医師会による協力もあり、多大な成果を生むとともに医歯薬系上級学校への進路決定と密接に結びついている。

リベラルアーツ講座では、保護者が講師、受講者いずれの立場でも参加する機会があり、開放された教養講座としての役割も果たしている

6 今後の発展

本校の教育目標に掲げられた「深く高度な学力の育成・逞しく規律ある生徒の育成・幅広い教養教育の充実・医歯薬コースの充実と併設中学校との連携」に則し、さらに高度で自律的な学習活動を継続していく。その中で、研究手法において、より対話性と協働性を広げつつ発展していくことを模索するとともに、可能な限り、研究の実践過程や成果を可視化していくことを目指す。